

ウコール(御香炉)と グフンシ(御風水)

●Answer
きゅうようじ ほんがんじ
 沖縄市・球陽寺(コザ本願寺)
ぜんじゅうしよく きえ りゅうしやう
 前住職 帰依 龍照

Q

家の建て替えにあたり、仏壇に二つあるウコールを一つにできないか、両親に聞いてみたところ、一つは遠い先祖のもので、一つは近い先祖のもので、誰からが遠い先祖で、誰からが近いのか、いつ二つになったのかも分からないそうです。これは一つにしてはいけませんか？また、グフンシ(家の守り神、小さな石づくりの祠)が家の北側にあり、これも撤去したいのですが、撤去してはいけないものですか？家族の中に反対者はいないので、やってよいなら自分たちでウートーミーやウサキムンをしてやってもよいのかなどが知りたいです。(chikiさん)

A

chikiさん、お家の建て替え、誠にありがとうございます。質問が『ウヤファーフジヌウコール(ご先祖さまの御香炉)』と『ニーヌファヌグフンシ(北側の御風水)』についてですので、二つに分けてご回答させていただきますと思います。

**カラウコールと
ホンウコール**

chikiさん家のお

仏壇にウコールが二つあるのは、『ウヤファーフジヌウトウーシ(ご供養)』や『チネーヌサカイ(家庭繁栄)』を願った先人のジンブン(教養)ではないかと想像ができません。

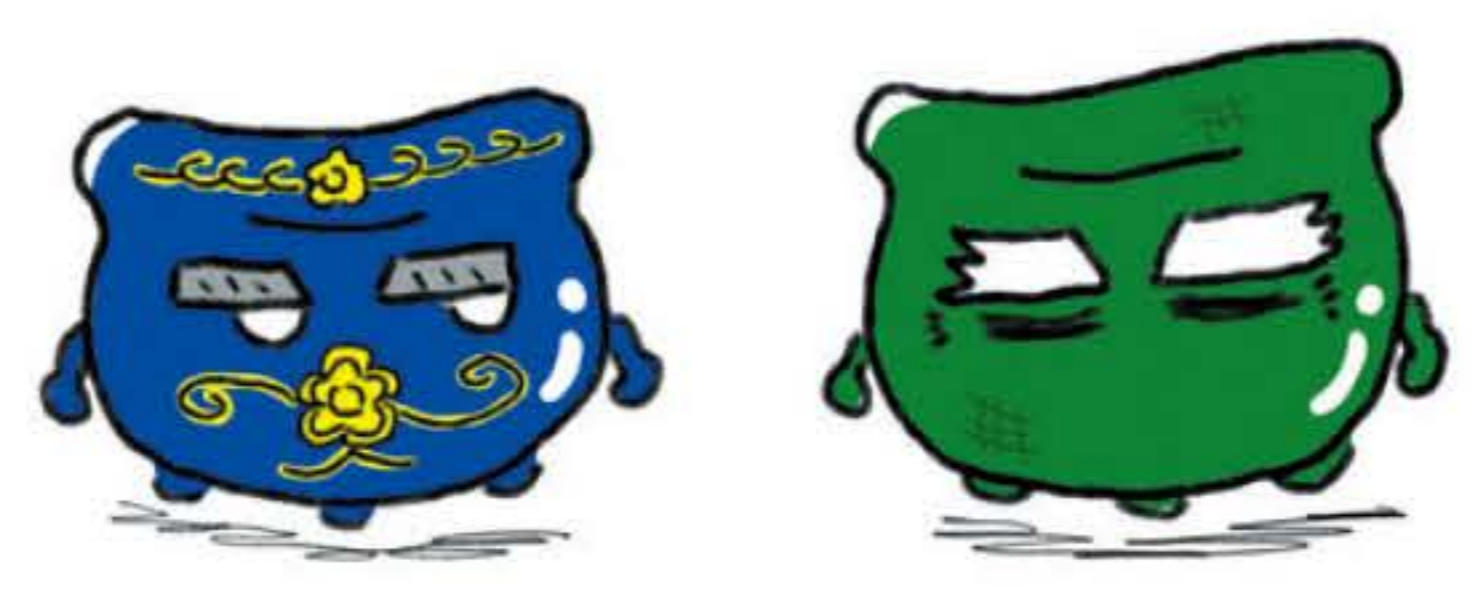
家の建て替えを迎えるグスーシ(お祝い)にあつては、そのような意味合いも含め、知らず知らずこのターチウコール(二つのウコール)のお世話になつているのかもしれない。

ここでポイントになるのが、沖縄のしきたりという、三親等やウフタンメー・ウフンメー(曾祖父・曾祖母)を基準とする遠いまたは近いウヤファーフジの線引きもしかることもながら、それと同じく、この二つのウコールは、トートーミーがない『カラウコール(空・仮の御香炉)』なのか？トートーミーがある『ホンウコール(本・実の御香炉)』という位牌併具(位牌とウコールがワンセット)なのか？という点です。もしもカラウコールであれば、トートーミーがないカリウンチケー(仮安置)であることから、家族の総意で一つにまとめることが可能かと思

います。またウコール設置の際、専門家の先生が担当された

のであれば、沖縄のしきたりの上座・下座を踏まえているはずですので、上座(正面右側)はムトウーヤーシジ(本家筋)のウコール、下座(正面左側)はナカムートウヤーシジ(中本家筋)のウコールと見立てていると思います。

この場合、ナカムートウヤーシジのウコールの灰をムートウヤーシジのウコールへ入れることにより、同じヤーシジのウヤファーフジ・ウコールとして一つにまとめる前例も見受けられます。



イラスト/帰依剛龍

ウコールを一つにできるかは、遠くても近くても同じウヤファーフジであると考えればできる、ということになります。Chikiさん家の総意どおり、一つにまとめられてはいいかがでしょうか。

**グフンシは撤去？
移設？**

chikiさん家は、実

に立派なグフンシをウンチケー(ご安置)されているようです。先人がチネーヌサカイなどを越え、ムンチユー(門中)や地域レベルの繁栄を願われてウンチケーされたのではないかと深く感銘を受けるところです。しかも、北側にあるとなれば、ニーヌファ(子の方角へ北側の敬称)を畏敬するスイジュン(首里様式)の専門的な沖縄のしきたりですので、撤去はご自分たちでは行わず、ご寺院のご住職さまなど、豊富な知識をお持ちである、専門家の先生方にご依頼されることが賢明かと思われます。

また、chikiさん家の総意としては、撤去が前提のようですが、グフンシとは、ヒヌカン同様、chikiさん家の風水全般の象徴となるものです。

そのような意味合いからしても、chikiさん家はとても素晴らしい沖縄のしきたりの環境下にあるといえるでしょう。建て替えについて、まだ設計の前後であれば、可能な限りニーヌファやそこに近い方位(建物や駐車場に干渉しない場所)へグフンシを移設されることも、選択肢として再考の余地を残していただけだと思います。

